

市立伊勢総合病院

○ 業務の概要

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとする地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきた。

本年度は、災害拠点病院の指定、呼吸器外科の開設、心臓リハビリテーションの開始、安全・安心で高度な医療を提供するため、関節鏡システム、超音波画像診断装置等の整備を行った。また、平成25年3月に策定した「新市立伊勢総合病院建設基本計画」に基づき、新病院開院と並行して施工してきた、旧病院解体工事及び駐車場整備工事が3月に竣工を迎え、新病院建設事業が完了した。

利用状況については、入院延患者数 88,244人（1日平均 241人）、外来延患者数 129,498人（1日平均 540人）、健診者数 14,807人（1日平均 52人）となった。また、新病院開院にあたって、急性期・救急医療を基本としながら、地域に必要で不足している地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟及びホスピス病棟の新設・充実を図ったことにより、前年度と比較すると、入院患者数で 13,198人、外来患者数で 5,129人、健診者数で 879人それぞれ増加した。

財政収支の状況は、収益的収支において、消費税を除き収入額 7,679,599,493円、支出額 8,055,466,135円の執行となり、収入では、患者数の増加により、入院・外来収益及び健診収益はそれぞれ増収となったものの、支出では、新病院開院に伴う職員採用による給与費、患者数の増加による材料費及び新病院建設による減価償却費がそれぞれ増額となったことにより、375,866,642円の損失を生じた。

また、旧病院施設等の資産の処分に伴う資本金及び資本剰余金の処分数額1,423,684,391円を含め、当年度未処理欠損金は 2,224,735,868円となった。

一方、資本的収支においては、収入額 1,424,128,447円、支出額 1,296,923,844円の執行となった。

今後も、新病院建設による企業債償還金、減価償却費等により、厳しい病院経営となることが予測されるが、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、病院経営の健全化に取り組んでいく。

1 職員に関する事項

（各年度3月31日現在）

区分	医師	看護職	医療技術職	事務・その他	再任用	計
令和元年度	52人	228人	82人	34人	9人	405人
平成30年度	48	213	76	40	4	381

2 経理の状況

(1) 令和元年度伊勢市病院事業損益計算書

平成31年 4月 1日から 令和 2年 3月31日まで			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	円 8,055,466,135	病院事業収益	円 7,679,599,493
医業費用	7,415,304,577	医業収益	6,165,320,303
給与費	4,001,618,719	入院収益	4,178,603,636
材料費	1,281,557,136	外来収益	1,783,705,025
経費	1,127,411,157	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	958,286,434	その他医業収益	153,141,642
資産減耗費	893,925	健診収益	320,269,196
研究研修費	45,537,206	健診収益	320,269,196
健診費用	186,182,209	医業外収益	1,193,228,455
給与費	130,300,484	他会計補助金	304,209,120
材料費	5,387,053	他会計負担金	435,125,000
経費	33,825,184	県補助金	3,893,000
減価償却費	16,669,488	国庫補助金	1,993,118
医業外費用	453,979,349	長期前受金戻入	413,534,571
支払利息及び 企業債取扱諸費	64,164,303	その他医業外収益	34,473,646
雑損失	329,544,926	特別利益	781,539
負担金	33,640,600	当期純損失	375,866,642
医業外雑費	26,629,520		
合 計	8,055,466,135	合 計	8,055,466,135

(2) 令和元年度伊勢市病院事業貸借対照表

令和 2年 3月31日			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
固定資産	18,803,001,971	固定負債	14,127,106,616
有形固定資産	18,396,593,158	企業債	12,458,388,301
土地	1,572,578,736	建設改良等企業債	12,458,388,301
建物	12,581,703,881	引当金	1,668,718,315
減価償却累計額	△575,416,426	退職給付引当金	1,668,718,315
構築物	1,530,514,503	流動負債	2,194,896,221
減価償却累計額	△12,684,910	企業債	696,652,432
器械備品	4,863,286,570	建設改良等企業債	696,652,432
減価償却累計額	△1,565,441,126	未払金	1,256,609,633
車両	8,463,238	医業未払金	501,888,723
減価償却累計額	△6,411,308	未払消費税	23,469,200
無形固定資産	3,562,685	その他未払金	731,251,710
電話加入権	3,562,685	引当金	238,691,000
投資その他の資産	402,846,128	賞与引当金	200,752,000
長期貸付金	312,815,000	法定福利費引当金	37,939,000
基金	90,031,128	その他流動負債	2,943,156
流動資産	2,064,793,562	預り金	423,156
現金預金	947,961,191	預り保証金	2,520,000
現金	1,285,000	繰延収益	1,574,061,198
預金	946,676,191	長期前受金	2,519,959,408
未収金	1,087,743,546	長期前受金収益化累計額	△945,898,210
医業未収金	1,084,725,763	資本金	4,254,000,000
医業外未収金	12,776,640	剰余金	△1,282,268,502
その他未収金	65,000	資本剰余金	942,467,366
貸倒引当金	△9,823,857	受贈財産評価額	141,807,695
貯蔵品	29,088,825	他会計補助金	89,845,648
薬品	21,766,742	工事負担金	53,395,358
診療材料	4,918,230	寄附金	26,596,500
その他貯蔵品	2,403,853	他会計負担金	630,822,165
		欠損金	2,224,735,868
		当年度未処理欠損金	2,224,735,868
合 計	20,867,795,533	合 計	20,867,795,533

3 病院利用状況 令和元年度

診療科目	入院	外来
内科	27,223人	30,465人
循環器内科	5,980	4,423
外科・消化器外科	8,072	10,069
整形外科	22,915	23,690
形成外科	375	1,499
皮膚科	2,033	9,629
泌尿器科	1,985	10,513
婦人科	477	3,788
小児科	—	83
耳鼻いんこう科	—	779
眼科	1,906	7,282
精神科	—	1,418
脳神経外科	—	247
歯科口腔外科	1,327	13,433
放射線科	—	3,831
麻酔科	—	1,020
脳神経内科	3,737	6,604
ホスピス科	3,479	25
リハビリテーション科	8,575	614
呼吸器外科	160	86
計	88,244	129,498

4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	品 名 等	金 額
元. 9. 19	高周波手術装置 VI0200S・VI0100C（アムコ）	円 7,884,000
元. 9. 30	血液浄化装置 ACH-Σ（旭化成メディカル）	5,940,000
元. 10. 31	プローブ及びワークステーション C41L47RP（日立製作所）・マルチパーパスワークステーション（ユーロメディテック）	4,620,000
元. 11. 29	簡易ベッド MBI-8MG（エアーストレッチャー）	1,518,000
2. 2. 14	超音波画像診断装置 LOGIQ S8 Xdclear2.0 ⁺ ・Venue Go R2.5（GEヘルスケア・ジャパン）	9,350,000
2. 2. 27	超音波画像診断装置 Venue50（GEヘルスケア・ジャパン）	2,475,000
2. 2. 28	手関節用牽引器 ARCリストタワー（日本メディカルネクスト）	1,320,000
2. 2. 29	手持型体外式超音波診断用リニア型プローブ H40452LG（GEヘルスケア・ジャパン）	2,200,000
2. 2. 29	タニケットシステム Delfi PTSii（ジンマーバイオメット）	1,287,000
2. 3. 13	血圧脈波検査装置 VS-3000TN（フクダ電子）	2,398,000
2. 3. 19	赤外線治療器 M22 IPLモデル（日本ルミナス）	9,416,000
2. 3. 19	ホルミウムヤグレーザ Sphinx Jr.（タカイ医科工業）	9,680,000
2. 3. 19	ミニドライバー他 ミニドライバー（ジンマーバイオメット）他	5,005,000
2. 3. 19	関節鏡システム LENS4Kインテグレートッドシステム（スミス・アンド・ネフュー）他	18,920,000
2. 3. 19	無散瞳デジタル眼底カメラ CR-2AF（キヤノン）	3,410,000
2. 3. 19	送信機 ZS-640P（日本光電）	4,510,000
2. 3. 24	簡易ベッド MBI-8MG（エアーストレッチャー）	4,730,000
2. 3. 31	関節鏡手術用手術台 T-MAXビーチ・チェア（スミス・アンド・ネフュー）	1,419,000
2. 3. 31	サポートアーム AR-1740（アースレックスジャパン）	3,047,000

○ 医師・看護師確保対策事業

病院事業の安定と地域医療の存続に必要な、医師等の確保対策の1つとして医師・看護師奨学金制度を運用している。令和元年度は医師奨学生を3名、看護師奨学生を6名新たに選考し、貸与終了後の医師及び看護師の安定的な確保に努めた。

なお、令和元年度卒業の医師奨学生2名、看護師奨学生10名は当院に就職した。

令和元年度 医師・看護師奨学生貸与状況

1 医師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
人数	2名	2名	1名	3名	3名	2名	13名

2 看護師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	計
人数	7名	11名	14名	2名	34名

医師確保については、奨学金制度のほか、医師派遣元の三重大学等や医療機関へ積極的に働きかけを行った。また、市健康課と連携し、藤田医科大学に寄附講座を設置することで確保できた常勤のリハビリテーション科医師により、回復期リハビリテーション病棟への入院患者の積極的な受け入れに努めた。また、初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、4名（医師奨学生2名を含む）が当院に就職した。

看護師確保については、三重県立看護大学特別選抜試験地域推薦入学制度の利用や潜在看護師（看護師・准看護師免許を持っているが、家事・育児等により医療現場から離れている方）の職場復帰につながるよう、実習を伴った研修会の開催により看護師確保に努めた。

併せて、ホームページやフェイスブック等を活用した情報発信、病院紹介イベント等への参加等、医療スタッフの確保につながる広報活動を行った。

○ 新病院建設関係

令和元年度は、平成30年度より施工してきた旧病院解体工事及び駐車場整備工事を行い、令和2年3月に新駐車場が完成した。

1 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	(注1) 伊勢総合病院解 体工事（A工 区）	解体工事 一式	円 180,631,160 【契約額】 289,631,160 [平成30年度] 109,000,000 [令和元年度] 180,631,160	30.10.9	元.6.28

楠部町 地内	(注1) 伊勢総合病院解 体工事 (B工 区)	解体工事 一式	円 287,822,000 【契約額】 456,942,000 [平成30年度] 169,120,000 [令和元年度] 287,822,000	30.11.30	2.3.5
〃	(注2) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (土木その1) 工事	側溝工 223m 管渠工 408m 集水柵工 30か所 縁石工 753m	16,956,700 【契約額】 27,576,700 [平成30年度] 10,620,000 [令和元年度] 16,956,700	30.12.14	2.3.23
〃	(注2) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (土木その2) 工事	側溝工 342m 管渠工 592m 集水柵工 63か所 縁石工 1,784m 消防水利施設工 2か所 柵工 170m	52,392,700 【契約額】 84,202,700 [平成30年度] 31,810,000 [令和元年度] 52,392,700	30.12.21	2.3.23
〃	(注2) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (舗装) 工事	アスファルト舗装工 15,390m ² ブロック舗装工 1,444m ² 車止め 373か所 区画線工 4,181m	63,711,200 【契約額】 103,711,200 [平成30年度] 40,000,000 [令和元年度] 63,711,200	30.12.21	2.3.30
〃	(注1) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (建築) 工事	建築工事 一式	85,362,000 【契約額】 138,042,000 [平成30年度] 52,680,000 [令和元年度] 85,362,000	30.12.25	2.3.31
〃	(注2) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (植栽その1) 工事	高木植栽工 24本 中低木植栽工 2,517株	5,990,400 【契約額】 9,350,400 [平成30年度] 3,360,000 [令和元年度] 5,990,400	31.1.18	2.3.23

楠地	町内	(注2) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (植栽その2) 工事	高木植栽工 115本 中低木植栽工 15,560株	円 29,738,600 【契約額】 49,178,600 [平成30年度] 19,440,000 [令和元年度] 29,738,600	31. 1. 25	2. 3. 30
〃		(注3) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (植栽その3) 工事	高木植栽工 51本 中低木植栽工 5,740株	16,057,600 【契約額】 16,057,600 [平成30年度] 0 [令和元年度] 16,057,600	31. 1. 18	2. 3. 25
〃		(注4) 新市立伊勢総合 病院駐車場整備 (電気設備)工 事	電気設備工事 一式	86,972,000 【契約額】 86,972,000 [平成30年度] 0 [令和元年度] 86,972,000	31. 1. 25	2. 3. 19
〃		(注4) 市立伊勢総合病 院健診センター 改修工事	改修工事 一式	45,598,680 【契約額】 45,598,680 [平成30年度] 0 [令和元年度] 45,598,680	31. 3. 15	元. 7. 11
計	11件	—	—	871,233,040	—	—

(注1) 営繕課施行、平成30年度から一部繰越

(注2) 基盤整備課施行、平成30年度から一部繰越

(注3) 基盤整備課施行、平成30年度から繰越

(注4) 営繕課施行、平成30年度から繰越

※合計は、各行の最上段を合算

○ 地域医療連携関係

紹介患者予約の受付時間を平成30年度に引き続き1時間30分延長し、開業医からの要望に対応するとともに予約紹介患者の増加につなげた。

地域における第一線の医療機関である「かかりつけ医」を支援し、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として三重県より承認された『地域医療支援病院』の名称承認の継続にむけて取り組んだ。

患者支援においては、MSW4名・看護師3名を配置し、患者支援センターにおいて入院前・入院時における患者・家族等への説明・案内を通じ、情報収集を行うことにより早期・円滑に入退院支援を行える体制を構築した。

新病院開院時に新規開設したホスピス病棟については、専任のMSWを配置し今年度約130件の問い合わせ、相談に対応し75名の外来面談を行った。また、オープンホスピスの開催、ホスピス科医師による講演や勉強会の実施等地域活動も行った。また回復期リハビリテーション病棟については、リハビリテーション科医師・専任のMSWで連携医療機関に訪問活動等を行うことにより紹介患者の獲得に努めた。また、大腿骨頸部骨折地域連携パス連携会議（まいわし医療連携会）に参加し紹介元医療機関、地域の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関との連携を図った。

地域包括ケアシステムの構築に向けては、地域の医療機関とお互いに協力しやすい体制を作り、急性期から回復期、療養、在宅復帰にいたる切れ目ない医療の提供に貢献するために、伊勢地区在宅医療・介護連携推進協議会、伊勢地区多職種研修会、困難事例検討会に参加した。

また、定期的に地域の医療従事者の質の向上のための研修会の開催を院内各部署と協力して行い、医療機関のみならず、行政や保健・福祉・介護に関する機関との連携強化に取り組んだ。

1 紹介患者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	人 988	人 1,064	人 1,109	人 1,149	人 996	人 986	人 1,114	人 1,029	人 1,067	人 1,013	人 872	人 980	人 12,367
平成30年度	863	901	899	894	887	758	1,006	907	682	835	947	978	10,557
平成29年度	700	786	854	825	814	813	929	824	831	720	722	788	9,606

2 患者相談窓口対応件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	件 31	件 65	件 52	件 40	件 39	件 42	件 28	件 34	件 24	件 29	件 42	件 33	件 459
平成30年度	51	53	37	33	44	48	48	50	27	27	21	41	480
平成29年度	18	30	15	23	22	10	15	20	17	22	30	39	261

○ 健診・人間ドック関係

各種疾患や生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の健康増進の一助となるべく、各健保組合等から受託する人間ドックをはじめ、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診や法定健診等を実施した。

健診結果については、今後の健康管理に活用してもらえよう希望者には「医師による当日結果説明」を実施するとともに、要精密検査や要経過観察の判定となった方には、二次検査（外来診療）の受診案内を行い、疾病の早期治療につながるよう努めた。

1 受診者状況

区 分	開設日数	受 診 者 数			
		人間ドック	健診等	その他	計
令和元年度	286 日	7,016 人	7,256 人	535 人	14,807 人
平成30年度	283	6,345	6,991	592	13,928
平成29年度	289	6,974	7,468	550	14,992

※人間ドック 胃検査を実施したコース、脳ドック

※健診等 胃検査を実施しないコース

※その他 インフルエンザ、破傷風、B型肝炎等ワクチン接種、B型肝炎検査他

2 二次検査受診者数

区 分	受診者数（延べ）
令和元年度	1,621 人
平成30年度	1,567
平成29年度	1,668